

3日に第5回実行委員会 11.24シンポ成功に全力で

ルネサス早朝宣伝行動

- ・山口工場（宇部市）
11月15日（木）7:30～8:30
- ・柳井工場（柳井市）
11月15日（木）7:30～8:30

「ルネサス」実行委員会は、3日、県労連会館会議室で5回目の実行委員会を開催、ルネサスをめぐる情勢・状況の特徴について意見交換するとともに、今後の具体的な取りくみについて確認しました。第5回実行委員会には藤永佳久会長（県労連議長）をはじめとする10名が参加しました。

ルネサスでは、10月31日で早期退職に応じた従業員が、6カ月間の期間社員として再雇用されて

いることや派遣社員が入っていることなど、ルネサス職場で退職補充として非正規雇用がすすめられていることにみられるように、リストラそのものの是非が問われています。

また、政府系ファンド・革新機構や自動車、電機メーカー大企業10社が2,000億円を出資、買収することが報道されています。その革新機構がNEC、日立製作所、三菱電機のルネサスの母体・親会社に1,000人の従業員採用を要請しています。毎日新聞（10/29付）が社説で「日の丸連合は理を示せ」と、ルネサスが顧客大企業の「下請け」状態となっていることを批判しています。

こうした状況の中、全国で電機リストラに抗議・反撃がはじまっており、連合労組を脱退して電機・情報ユニオンに加入している組合員もでてきています。実行委員会では、こうした状況について認識をふかめ、当面する「ルネサス」シンポジウムの成功、「地域経済まもる市民署名」の取りくみをはじめていくことに全力をあげることを確認しました。シンポジウムでは、下関市立大経済学部・関野秀明准教授が講演します。パネラーは、電機情報ユニオン・森英一書記長、共産党・藤本一規県議、県商連・松田一志事務局長となりました。会場は会議室から大ホールに変更しました。乞うご期待を。

「ルネサス」シンポジウム

日時 11月24日（土）14:00～16:30
場所 宇部市楠総合センター 大ホール
講師 下関市立大学経済学部 准教授
関野 秀明さん
パネルディスカッション（集団討論）
をおこないます。

明日、共産党・志位委員長が国会質問

明日13日（火）衆議院予算委員会で日本共産党・志井和夫委員長が電機情報産業での13万人大リストラについて質問します。時間は、15時15分から16時までの45分間です。

大企業の横暴な人減らし・リストラを許さず、大企業と政治の責任を厳しく追求することです。質問はテレビでも放映されます。また、国会のインターネットでも見ることができます。団体や職場、地域でも多くの皆さんが見て、今後の運動に生かしていきましょう。